

なりたい自分になるために学び続ける児童の育成

－ 将来につなぐ資質・能力を育む教育課程を通して －

棚倉町立棚倉小学校 教諭 小松 光恵

## 1 研究の趣旨

本校では、令和元年度から、棚倉町教育委員会の方針のもと、学習指導要領で述べられている特別活動を要としたキャリア教育の推進、児童の社会的・職業的自立に必要な資質・能力を育成する教育の充実等を踏まえて、なりたい自分になるために学び続ける児童の育成を目指してきた。私たちは、「子どものよさに目を向ける」を信念とし、キャリア教育の視点を生かした授業づくりや学級づくりに取り組んできた。これまでの研究において、各種調査結果や教師の見取りから、児童の学校生活への満足感や自己マネジメント力、学習意欲等の向上が見られており、これらの向上が学力や自己肯定感の高まりにつながっていることが明らかとなった。キャリア教育を研究の軸にして4年目。令和4年度は、学びのつながりを明確にした指導の充実や肯定的で対話的な関わり等を大切にして、397名の児童一人一人の学びの姿にクローズアップしながら研究を積み重ねていくこととし、以下の仮説を設定した。

教科等横断的な視点で組み立てた教育課程を通して、学級活動を要としたキャリア教育の充実を図り、肯定的で対話的に関わりながら将来につなぐ資質・能力を育成すれば、なりたい自分になるために学び続ける児童を育成することができるであろう。

## 2 研究の概要

### (1) 研究内容

- ① 育てたい資質・能力の焦点化
- ② ほめポイント「4つの化」
- ③ 教科等横断的な視点で意図的・計画的・系統的に組み立てた教育活動の展開
- ④ キャリア教育の視点を生かした授業改善
- ⑤ 特別活動を要としたキャリア教育の充実

### (2) 研究方法

四半期ごとのマネジメントサイクルによる児童の学びの姿をもとにした評価と改善

## 3 成果と今後の課題

### (1) 研究の成果

- 目の前の児童に育てたい資質・能力を焦点化し、その資質・能力を「ほめポイント」とし、教科横断的な視点で位置付けた単元等を中心に学びをつなぎながら全職員で育てたことで、児童一人一人に資質・能力が育成できた。
- 町キャリア教育意識調査等の各種調査においては、前回調査と比較して、肯定的に評価した児童や保護者の割合が増加した。標準学力調査では、知能との相関において学力が優位になるとともに、各種調査結果から見える非認知能力の高まりが学力の高まりにつながっていることが明らかとなった。
- 本研究は、職員同士においても、互いのよさに目を向け、支え合い、学び合える温かな関係性を醸成することや、組織力を高めることにつながった。

### (2) 今後の課題

- 児童の次の成長を促した肯定的で対話的な関わりの累積や焦点化した資質・能力をより意識して高めるためのカリキュラム・マネジメント等について研究を深め、学び続ける児童の育成を目指したい。